



Company Profile & History

1970年代のアナログ・コンソールからプログラマブル・オーディオ・コンソール **PTR** の開発, 最初のフルデジタル・ミキシング・コンソール **mc series**, そしてネットワーク能力を持つ **mc² series** へと, LAWO 社は画期的な製品を続々と発表して創意溢れる企業として高い評価を獲得しています。

1970	Peter Lawo がドイツのラシュタットに電子機器に関するエンジニア・オフィスを開設
1970年代	電子音響プロセッサの開発 (Vocoder, Halaphon 等). 放送用アナログ・モジュラーやモジュラー方式のコンソールの開発と製造
1980年代	アナログ信号処理とデジタル制御を備えたプログラマブル・オーディオ・ミキシング・コンソール PTR (ハイブリッド・オーディオ・ミキシング・コンソール) の開発
1990年代	フルデジタルのモジュラー式コンソール mc series を開発 (多数のシステムが現在も運用中)
1996	成功を収めたコンソール diamond series のさらなる開発を引き継ぐ (多数のシステムが現在も運用中)
1998	ATM を介するリニア・オーディオ・ネットワークングを備えた mc² series を発表 (多数のシステムが現在も運用中)
1999	Lawo Gerätebau GmbH が Lawo AG となる
2001	モジュラー・マトリクス・システム SAM (Smart Audio Matrix) を発表
2002	新型ミキシング・コンソール zirkon を発表. モジュラー方式の低価格マトリクス・システム Nova17 を発表
2003	4ステレオ・チャンネルを備えたミニミキサー z4 を発表. 96 kHz 対応の mc² HD テクノロジーを発表. Nova73HD ルーティング・システムを発表
2004	放送およびライブ向けコンソール mc²66 が機能・人間工学・コスト効率の面で新たなスタンダードとなる
2006	2月: トリノ冬季大会でフィンランド向け音声制作に LAWO 製品が使用される 5月: AES パリで mc²90 を発表 6月: FIFA World Cup Germany™. コメンテーターの音声は Nova73HD を介して配信され, 国際フィードは 2 台の mc²66 を使ってサラウンド方式で制作
2007	5月: ヘルシンキでの Eurovision Song Contest の放送に LAWO 機材を使用
2008	3月: Supplier of the mixing console for Formula One host production となる 4月: ラスベガスでの NAB にて mc²56 を発表 6月: EURO の放送に mc²90 と mc²66 を使用 8月: 北京での大規模な国際的スポーツ大会で 50 台以上の mc² コンソールによって国際フィードの約 70% が制作される 9月: IBC アムステルダムにて新型コンソール crystal を発表
2009	1月: 29th German Economy Innovation Awards の Silver Award を獲得 3月: 今年度も Supplier of the mixing console for Formula One host production となる 4月: Plug-in Collection を発表 9月: IBC アムステルダムにて mc²66 の新型を発表 12月: 本社屋を拡大
2010	1月: 新社屋の製造部門が稼働 2月: バンクーバーでの国際的冬季スポーツ競技大会で 50 台以上の LAWO システムが使用される 3月: 今年度も Supplier of the mixing console for Formula One host production となる. Optocore との協力を発表 6~7月: 南アフリカでのサッカー・ワールドカップで 50 台以上の LAWO システムが使用される 9月: IBC にて新型ラジオ・オンエア・コンソール sapphire とマトリクス・システム Nova29 を発表 10月: 放送業界からの約 350 人の招待客と共に創立 40 周年を祝う
2011	4月: 今年度も Supplier of the mixing console for Formula One host production となる 8月: ラウドネス・メータリングを実装した mc² v4.14 をリリース. mc²66 用エクストラ・フェーダー・オプションもサポート 11月: 仏 Innovason ブランドを傘下に入れる
2012	3月: 今年度も Supplier of the mixing console for Formula One host production となる 6月: ARD ラジオによる EURO の放送に LAWO 機材が使われる 7~8月: ロンドンでの大規模な国際的スポーツ大会にて 50 台以上の mc² コンソールによって番組が制作される 9月: IBC にて mc²56 の第二世代を発表. 初の映像関連製品 V__pro8 を発表
2013	4月: ルーティング・システム兼ミキシング・コンソール・コア Nova73 compact を発表 9月: IBC にて V__link4 を発表. Lawo Commentary Unit を発表 10月: Emmy Engineering Plaque を授与される
2014	4月: タッチスクリーン操作のバーチャル・ラジオ・ミキシング・コンソール crystalCLEAR を発表. V__link4 を使用する IP ベースのカメラ・ハブを発表 9月: IBC にてオールインワン・オーディオ・コンソール mc²36 を発表
2015	4月: NAB にて Audio-over-IP インターフェイス・シリーズ A__Line と新型 mc²56 XT コンソールを発表. Prolight+Sound にて新型 Compact I/O を発表 9月: サッカー等の音声制作を劇的に変える自動追尾システム KICK を発表. IBC にてプラグ&プレイの IP/MADI ルーターと sapphire compact ラジオ・コンソールを発表 10月: IP へのサステイナブルな移行を支持するために AIMS に参加
2016	1月: L-S-B 社を合併. ABS 社を合併 4月: NAB にてソフトウェア定義の IP ルーティング/プロセッシング・プラットフォーム V__matrix , バーチャル・ラジオ・ミキサー R3LAY を発表 9月: IBC アムステルダムにて mc²56 XC コンソール, KICK 2.0 と電動マイク・スタンドを発表
2017	2月: ISE にて V__pro8 のアップグレード版を発表 4月: NAB にて新型ラジオ・コンソール ruby , V__matrix 用マルチビューワー, 新フラッグシップ・コンソール mc²96 を発表
2018	4月: mc²56 コンソールの第三世代を発表 9月: IBC アムステルダムにてラジオ・コンソール ruby の SMPTE 2022-7 対応版を公開



mc²96 Grand Production Console

SMPT2110 をネイティブ・サポートする mc²96 は IP ビデオ制作環境向けに最適化された性能を提供します。チャンネル番号や個々のテキスト・ラベルや静的なアイコンによる標準的なチャンネル・ラベル表示に加えて、mc²96 はさらに直感的なチャンネル識別を可能にする LiveView™ ビデオ・サムネイルも備えます。フェーダーに触れるだけで LiveView™ サムネイルがフルスクリーン・モードに変わってカメラや再生機等のそのチャンネルのビデオ・ソースの詳細なビューを提供します。

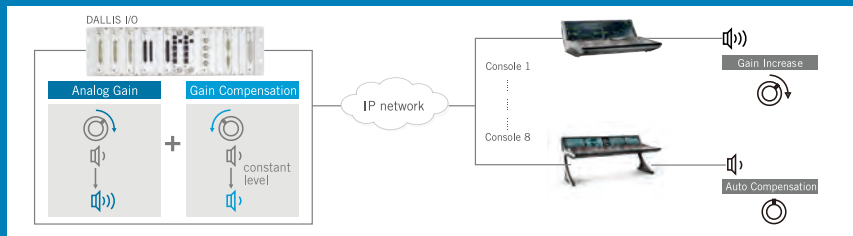
mc²96 は IP (SMPT2110, RAVENNA/AES67, DANTE) あるいは MADI を介する複雑な制作インフラ内のネットワークング用に新設計されました。DALLIS 入出力を共有する際、個々のユーザーが各自のゲイン設定を調節しているときに、8 台までのネットワーク接続したコンソールで予想外のゲイン変化が生じることを LAWO 独自のネットワーク・ゲイン補正機能 IP-Share™ が防止します。IP-Share™ アルゴリズムが DALLIS 入出力にネットワーク接続した全コンソールと通信し、マルチクライアント要求に合わせて最適アナログ・ゲインを設定。さらに、IP-Share™ はプリアンプのアナログ・ゲインが調節されているときに対応するゲイン補正が全コンソールのデジタル・ゲイン・ステージに確実に適用されるようにします。

主な特長

- LAWO mc²90 と同じ高品質フェーダーを採用
- 21.5 インチのフル HD タッチスクリーン、チャンネル・ストリップ内のカラー TFT ディスプレイとカラーコードが施されたタッチセンス式エンコーダー
- ゲイン以外に6つのパラメーターに直接アクセスできるフリー・コントロール
- マルチユーザー操作向けに設計
- ビデオ・ラベル機能 LiveView™
- ゲイン補正機能 IP-Share™
- パラレル・コンプレッション (ニューヨーク・コンプレッション)
- サラウンドおよび 3D ミキシング用の優れたツール群
- AutoMix, Audio-follow-Video, Downmix, AMBIT Upmix, KICK 2.0 を含む自動ミキシング・アシスタント
- ラウドネス・メータリング搭載
- RTW 社 TM9 ゴニオメーターの統合
- 包括的なローカル入出力
- 冷却ファンを排したコンソール・デザイン



IP-Share™ Gain Compensation



mc²56 Production Console

何百台もが世界中で運用されて音声制作業界を席巻したとも言える mc²56 コンソールの進化はこの第三世代によって次のステップに進みました。比肩するものがないイノベーションを提供すべく設計されたこのコンソールは単に究極のパフォーマンスをお届けするだけではありません。それはグローバル・スタンダードの再定義でもあるのです。

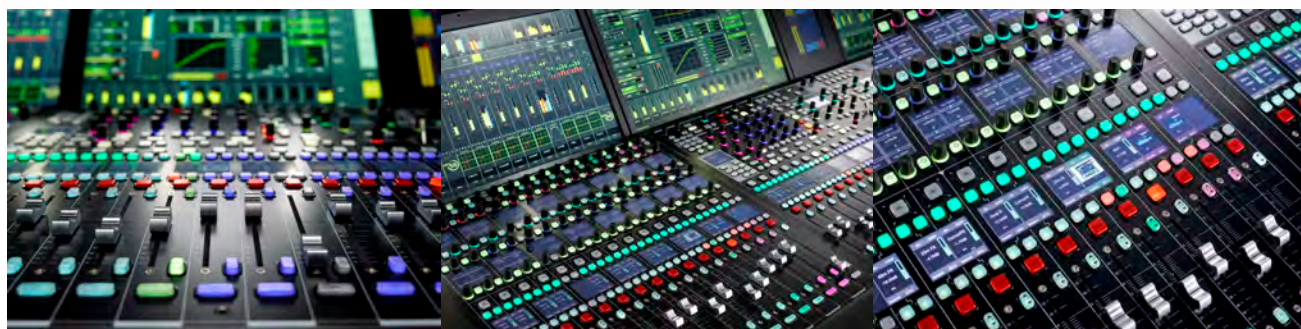
mc²56 の最新バージョンは、先代の特色を失わず——放送車両とスタジオからライブ・パフォーマンスとレコーディングまでにわたる用途に対応するコンパクトなサイズや柔軟性そして多機能なデザインという美点はそのままだに——LAWO フラッグシップ・コンソール mc²96 からの画期的な機能をいくつか採り入れています：

IP 映像制作環境内で性能を最大限に発揮できるように、SMPTE 2110 と AES67/RAVENNA と DANTE をネイティブにフルサポートし、LAWO の革新的 LiveView™ 機能がフェーダーのラベル表示ディスプレイ内に映像ストリームのサムネイル・プレビューを映し出します。

IP-Share™ ゲイン補正や DSCA™ (Dynamic Surface to Core Allocation：サーフィスからコアへの動的な割り当て) のようなユニークな能力が追加されたことにより、ネットワーキング用途でのクラス最高の性能はさらなる高みへと引き上げられ、複雑な IP ベースの制作インフラストラクチャーとしての No.1 の地位はさらに強化されました。

この新たな mc²56 を用いて限界に挑み、音声制作能力を想像を超えるまで引き上げてください。音声制作コンソールのグローバル・スタンダードはさらに高くなりました。

- 16 ～ 112 フェーダーを持つフレーム
- 最大 8,192 × 8,192 クロスポイント、最大 888 DSP チャンネル、最大 144 サミング・バス、最大 128 AUX バス
- 44.1 ～ 96 kHz 動作
- 関連 IP 規格 (SMPTE 2110, AES67, RAVENNA, DANTE®) をネイティブ・サポートする IP ベースのインフラストラクチャー
- マルチユーザー運用向けに最適化、コンソールのミラーリング運用
- 先進のミックス支援システム (AutoMix, アップ/ダウンミックス, KICK 対応)
- 包括的な Audio-follow-Video 機能
- LiveView™ ビデオ・サムネイル
- IP-Share™ ネットワーク・ゲイン補正機能
- DSCA™ (Dynamic-Surface-to-Core Allocation)
- 3D/ イマーシブ・ミキシング・ツール内蔵
- パラレル・コンプレッション
- 「ビジュアル」ミキシングのためにラウドネス・メータリング内蔵
- 大規模制作向けに強化された信号管理機能 (スワップとリロケートを含む)
- 動的なタイムコード・オートメーション
- LAWO グレードのマイクロフォン・プリアンプと処理アルゴリズム
- マシン / DAW のリモート・コントロール
- 独立した 4 つのダイナミクス・モジュールを用いたカスタマイズ可能な信号経路
- クリック・ノイズの出ないディレイ調節
- 冷却ファンを排したコンソール設計
- 選択的呼び出し
- オーバースナップ (相対トリム・セット)
- 複数トリガー (MIDI, GPIO, LTC 等) を含む包括的なシアター・オートメーションのキュー・リスト
- Waves SoundGrid® と Neumann DMI-8® デジタル・マイクロフォンの統合
- ワークフローに特化した機能カスタマイゼーション
- A/B 入力切り替え
- カスケード接続 / 入れ子接続した VCA
- iPad/Windows タブレット用リモート・コントロール・ソフトウェア



mc²36 All-in-one Production Console

mc²36はLAWO初のオールインワン・コンソールであり、同社の豊富な専門知識の利点をより多くのユーザーの方々にご利用頂けるように、最大限の使い易さと優れたコストパフォーマンスを目指して設計されています。小型であること、そしてDSPと入出力を内蔵したことによって、mc²36は限られた空間内での常設と輸送の多いレンタル会社のどちらにも最適です。

LAWOの開放性——作り込まれた将来対応：mc²36はスタンドアローン運用に即応できる状態で納品されますが、拡張や他のmc²コンソールやNovaルーターとのネットワークへの備えも万全です。MADIタイライン・ポート1基とRAVENNA/AES67 Audio-over-IPポート3基によって、将来、入出力デバイスやネットワークを追加する際も確実に接続が可能です。

ハード/ソフトウェア制御の完璧な調和が生む使い易さ：mc²36は使い易さに主眼を置いて設計されました。

- ・ **フィジカル・ユーザー・インターフェイス：**mc²36は新設計のコンソール・レイアウトを採用。今までのmc²ユーザーの方々には見慣れた感じですが、経験の浅い方でも直感的にお使いいただけます。新セントラル・ユーザー・セクションはコンパクトで、全パラメーターへの簡単なアクセスと強化された全体表示とを組み合わせています。
- ・ **タッチスクリーン・ユーザー・インターフェイス：**超高輝度21.5" HDタッチスクリーンはmc²36のあらゆる面の全体像を提供し、タッチ操作向けに設計されたダイアログ・ウィンドウを介して直接的な操作が可能。例えば入力パッチングは画面上で希望するフェーダー・ストリップの入力セクションに触れてソースを直に選ぶだけです。VCA割り当てやバス/AUX割り当て、ミックスマイナス設定のような作業もタッチスクリーンを使って直感的に行えます。ここでも、mc²36はチャンネル表示を調整することでユーザー要求に応えることができ、重要なパラメーターだけを選択表示し、不要あるいは邪魔になる要素は隠します。例えばトラック・バス選択を解除したり、AUXバス8本ではなく16本を表示させることができます。メーター表示はHDディスプレイ上にすべてのフェーダー・レベルがつねに表示されるように利用可能な最大サイズまで自動的に拡大されます。さらに、多段メーター表示によって別レイヤー/バンクの信号のメーター表示を常時出しておくことができます。

豊富な機能：mc²36は放送や劇場、ライブ、固定施設等の様々な用途向けの包括的な機能セットを持つ汎用コンソールです。LAWO社では1つの用途だけではなくどんな用途にも利点を提供するようにコンソールの機能を最適化することでこれを実現しました。共通点が1つあり、それは要求の厳しい環境下での素早い操作が行えるようにすべてのものが最適化されていることです。

ロードに即応：オールインワン・アプローチを採用したコンパクトなmc²36は特にモバイル制作やレンタル会社にとって魅力的です：卓とDSPコアと入出力にはフライトケースを1個しか必要としません。mc²36はドイツ製の高品質のシャーシとエレクトロニクスを備えており、すぐにロードに出ることが出来るヘビーデューティなフライトケースに収納したバージョンもあります。しかしmc²36をレンタル会社にとって理想的な選択肢にしているのはハードウェア的な要因だけではありません：USBメモリーを介してコンフィギュレーションとショー用のファイルの保存と読み込みを簡単に行えることなどは複数のコンソールやユーザーが関わってくるレンタルやツアー業にとって特に価値のあるものです。

オンボード入出力

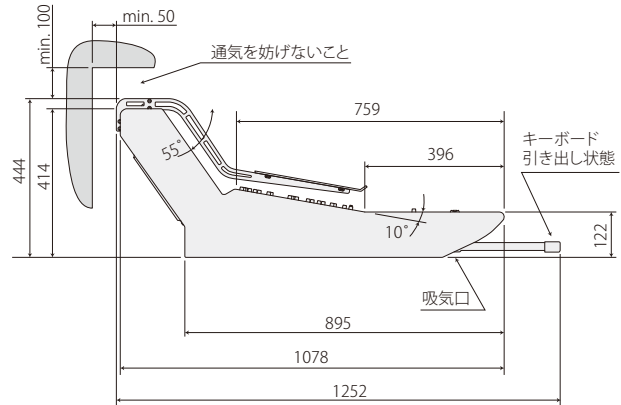
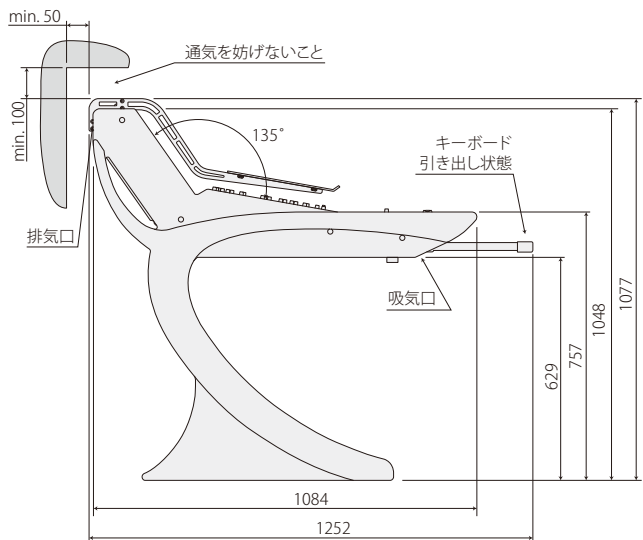
mc²36は様々な放送/固定設備用途のみならずFOHやモニタリングにも対応できる入出力接続能力を持っています。32個のLAWOマイク・プリアンプはDALLISシステム用の名高い941/55マイク・カードにあるものと同じで、20 Hz ~ 20 kHz でわずか0.03 dB というきわめてリニアな周波数特性ならびに0.0006%という驚異的に低いTHDを実現しています。

入出力概要：MIC/LINE IN × 32, LINE OUT × 32, AES3 IN × 8, AES3 OUT × 8, GPIO × 8, MADI (SFP) × 1, RAVENNA/AES67 × 3, HEADPHONES × 1

オンボードの入出力に加えて、MADIタイライン接続1個とRAVENNA/AES67 Audio-over-IPポート3個によって将来的に384までの外部入出力に接続でき、その場合、全部で496個の物理入出力という容量を実現します。他のmc²コンソールとのネットワークングに対するmc²36の備えは万全です。Novaルーターとの組み合わせでも運用でき、何千もある音声チャンネルに即座にアクセス可能です。mc²コンソールは複数卓の間での入力共有が可能なユーザー権限管理を含む優れた仕組みを備えています。



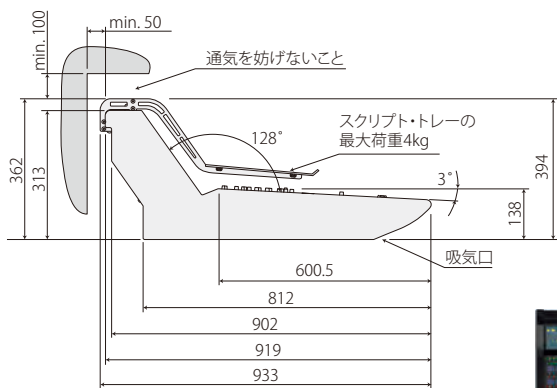
mc²96 Configurations & Dimensions



Configuration	Studio Version	Mobile Version
mc²96 24C	幅 1,333mm, 重量 102kg	幅 1,228mm, 重量 79kg
mc²96 24C + 16	幅 1,843mm, 重量 128kg	幅 1,738mm, 重量 105kg
mc²96 16+24C+16	幅 2,353mm, 重量 152kg	幅 2,248mm, 重量 129kg
mc²96 16+24C+32	幅 2,863mm, 重量 183kg	幅 2,758mm, 重量 160kg
mc²96 32+24C+32	幅 3,373mm, 重量 214kg	幅 3,268mm, 重量 191kg
mc²96 16-Fader Standalone	幅 633mm, 重量 60kg	幅 528mm, 重量 37kg



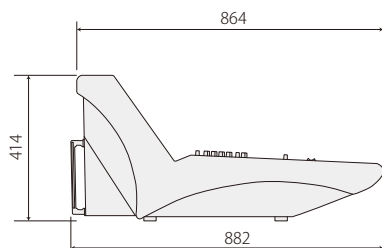
mc²56 Configurations & Dimensions



mc²56 16C	幅 736mm, 重量 47kg
mc²56 16+16C	幅 1,246mm, 重量 : 60kg
mc²56 16+16C+16	幅 1,756mm, 重量 77kg
mc²56 32+16C+16	幅 2,266mm, 重量 95kg
mc²56 16 Fader Standalone	幅 528mm, 重量 30kg



mc²36 Configurations & Dimensions



mc²36 16-fader	幅 796mm, 重量 38.0kg
mc²36 24-fader	幅 1,068mm, 重量 48.0kg
mc²36 40-fader	幅 1,578mm, 重量 63.0kg





Radio Consoles

ruby Visual Radio Console

フィジカル・コントロールとバーチャル・コントロールを絶妙に組み合わせたユーザー・インターフェイスを持つ、現代のラジオ局向けデジタル・コンソール。マルチタッチ対応ディスプレイでスタジオのワークフローに馴染みます。

- 4, 8, 12, 16 フェーダーのフレーム・サイズでデスクトップまたはフラッシュマウント。4または8フェーダーのエクステンダーとマスター・コントロール・モジュール
- 複数フレームを組み合わせで最高 60 フェーダーのシステムを構成可能
- 単一の連続フレームか分割フレームのコンフィギュレーション
- 設定済みのレベルを即座に変更できるタッチセンス式 100 mm 電動フェーダー
- オンエア+制作モードとフェーダー・マップの2つの用途のあるスナップショット TwinSnaps (最大 120 個のバーチャル・フェーダーをサポート)
- ボタン 1 押しで呼び出しできるカスタムな盤面レイアウト用の 5 つのコンソール・スナップショット
- GUI ビルダー・ソフトウェア VisTool 付属
- ミキシング・エンジン Power Core は 1U サイズ
- Seamless Protection Switching または Hitless Merge として知られる 2022-7 に対応



sapphire Digital Audio Mixing Console for On-Air & Production

小中規模のラジオ局向けデジタル・コンソール。モジュール式のコントロール・サーフェス、様々なフォーマットに対応可能な I/O システムや自由に設定可能なロジック機能により、ユーザーの要望に柔軟に対応します。

- 最大 60 フェーダー
- 最大 96 チャンネル
- 128 DSP モジュール (EQ, Dynamics, Delay), 60 サミング・パス, 32 ディエッサー
- MIC, アナログ, AES, MADI, HD-SDI 等, 多種多様なインターフェイスに対応可能な DALLIS I/O システム
- 仕様に合わせて自由にプログラム可能な各種コントロール (N-1, スイッチ, トークバック機能等)



Audio Interfaces

mc² Compact I/O Channel Expansion

mc² Compact I/O は mc²36 の接続容量を拡張し、遠隔配置可能なステージボックスとなる手軽でコスト効率の良い手段です。CAT5 またはオプションの光ファイバーで接続されるこの頑丈な 5RU ステージボックスは次の入出力を装備しています：マイク/ライン入力 32 系統、ライン出力 32 系統、デジタル AES3 入力 8 系統、デジタル AES3 出力 8 系統、GPIO8 系統、RAVENNA ポート 1 基、MADI (SFP) ポート 1 基。

mc²36 は mc² Compact I/O を 3 台まで接続できます。



DALLIS Flexible and Reliable Interface System

DALLIS (Digital And Line Level Interface System) は様々な種類のプラグイン・カードをお届けする極めて柔軟な入出力システムです。このマウンティング・フレームは必要な末端のインターフェイスへのマルチチャンネルの光ファイバー接続の始点となる中央のマスター・カード (ATM または MADI インターフェイス搭載が準備されます) を介して接続されます。

このハードウェアの内部構造は安全性に関して大きな利点を持っています。入出力カードから中央のマスター・カードへの接続はすべて 1 対 1 接続として設計されています。つまり、全コンポーネントのホットプラグ対応と相俟って、これは入出力カードが故障してもマウンティング・フレーム全体の停止にはつながり得ないことを保証するものです。

リダンダント設計内にマスター・カードを持たせることもでき、これはバックプレーンのダブルスター・アーキテクチャーによって理想的にサポートされます。電源ユニットもリダンダント設計内に入れることが可能で、重要な全コンポーネントのフルリダンダンシーを実現できます。



A__line IP Interface

A__line は LAWO mc² コンソール譲りのワイドなダイナミックレンジと超低歪みで高品位なオーディオクオリティを持った RAVENNA/AES67 IP インターフェイスユニットです。IP ネットワーク経由でアナログ / デジタル信号の伝送を可能にします。

A__mic8 Mic/Line-IP Interface : MIC/LINE IN × 8, LINE OUT × 4 ● 40/80 Hz 切替式 LCF, 全アナログ I/O の PPM メーター表示, 64/64 CH ルーティングマトリクス, PoE (Powered-over-Ethernet) 対応 ● 1RU, 2.1 kg

A__digital64 AES-IP Interface: AES3 IN (stereo) × 32, AES3 OUT (stereo) × 32, MADI ポート × 2, 管理 / 制御ポート (RJ45 100/1000Base-T イーサネット) × 1 ● 40/80 Hz 切替式 LCF, 全 I/O の PPM メーター表示, 256/256 CH ルーティングマトリクス ● 3RU, 5.2 kg

A__madi6 MADI-IP Interface : MADI ポート × 2 ●ブリッジ毎に 256/256 CH ルーティングマトリクス ● 1RU, 3.1 kg

共通仕様 :

- デュアルストリーミング / 制御ポート × 2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- GPIO ポート × 8 (A__madi6 以外)
- WCLK IN × 1, WCLK OUT × 1



A__line シリーズの A__stage は WAN 対応 AoIP ステージボックスで, A 級マイクプリアンプと進化したデジタル A/D FIR フィルタリングを搭載. SMPTE 2022-7 シームレスプロテクションスイッチング (SPS), 2 系統のリダンダントネットワークリンクを提供します. バランス / アンバランス信号を扱えるマイク / ライン入力, ブロードキャストクオリティの SRC を備えた AES3 入出力, PTP / ワードクロック同期 / 変換機能, デュアルリダンダント電源を装備.

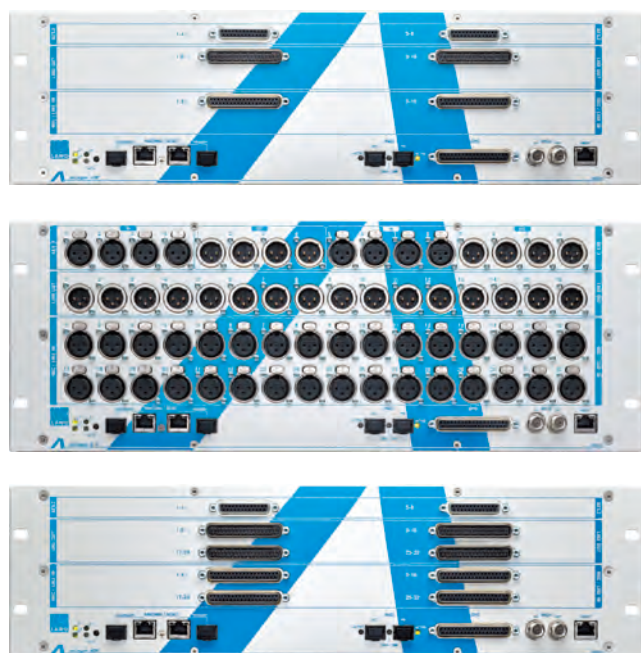
A__stage 80 AoIP Stagebox : MIC/LINE IN × 32, LINE OUT × 32 ● 3RU, 5.2 kg

A__stage 64 AoIP Stagebox : MIC/LINE IN × 32, LINE OUT × 16 ● 4RU, 5.9 kg

A__stage 48 AoIP Stagebox : MIC/LINE IN × 16, LINE OUT × 16 ● 3RU, 6 kg

共通仕様 :

- AES3 IN × 8, AES3 OUT × 8
- MADI ポート × 2
- デュアルストリーミング / 制御ポート × 2 (SFP/RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- 管理 / 制御ポート × 1 (RJ45 100/1000Base-T イーサネット)
- GPIO ポート × 8
- WCLK IN × 1, WCLK OUT × 1



Power Core^{RP} IP Audio I/O & DSP Node for Remote Production

mc² コンソール用にモジュール式入出力と DSP 機能, IP ストリーミング能力を統合して WAN 対応 IP ノードにまとめたリモートプロダクションエンジン. AoIP 用リダンダント 1GbE SFP ポート × 2, MADI ポート × 1, Mic/Line/AES3 カード混用可能な入出力スロット × 8 を装備. 全入出力パラメーターは mc² コンソールのチャンネルストリップや制御用タッチスクリーン GUI から制御可能です.

- オープンスタンダードに基づく ST2110/AES67/RAVENNA IP オーディオネットワーク
- シームレスプロテクションスイッチングが可能な ST2022-7 クラス C ネットワークリダンダンシー
- SFP を介する 1GbE ストリーミングポート × 2, SFP を介する 1GbE 管理ポート × 2, RS422 (RJ45) × 1
- USB ドングルポート × 1



- SFP を介する MADI × 1
- ワードクロック入出力
- GPI × 8, GPO × 8
- 64 個のモノ / 入力チャンネル: デジタル入力セクション (デジタルゲイン / 位相) / デレイ / EQ+ フィルター (4 バンド) / ダイナミクス (Comp/Exp/Gate/Lim)
- 16 個のステレオ AUX バス: デレイ / EQ+ フィルター (4 バンド) / ダイナミクス (Comp/Exp/Gate/Lim)
- ローカル / リモート使用のための独立した PFL / リッスンバス
- トークバックシステム内蔵
- 1RU, 4.5 kg

A__UHD Core Ultra-high Density IP DSP Engine for mc² Consoles

UHD Core は mc²56/mc²96 コンソールの DSP エンジン HD Core の拡張用 DSP エンジンで、IP ネットワーク上のどこにでも配置可能です。

- 1RU に 1,024 の DSP チャンネル (96 kHz モードでは 512 チャンネル)
- オープンスタンダードに基づく IP ネットワークプロセッサ (ST2110-30/-31, AES67, RAVENNA)
- SPS ストリームリダンダンシー (ST2022-7) とホットスペアリダンダンシーユニットによるハードウェアリダンダンシー
- 特別な高性能 RAVENNA プロファイルによってサブミリ秒オーダーのネットワークレイテンシーを実現



- DSP リソースを 4 台までのコンソール間でシェア可能
- ライセンシングシステムによる拡大可能な DSP 性能
- フューチャープルーフなソフトウェア定義のハードウェア
- 10/1GbE ポート × 8
- 1GbE ポート × 2
- 1RU, 7.4 kg

Nova Audio Routers

Nova73HD Digital Audio Matrix

RAVENNA, AES3, MADI, SDH/STM-1 等のインターフェイスを介して利用可能な最高 8,192 入出力という大容量を 10U サイズのパッケージに収容。96 kHz 動作、Dolby-E 互換、映像フレーム / 内部 DSP へのクロック同期した切替、ゲイン調整やモノ・ミキシングの信号処理を統合した最新ルーティング・システムを提供。モジュール式の構造と高性能アーキテクチャーは将来における要求にも対応可能。

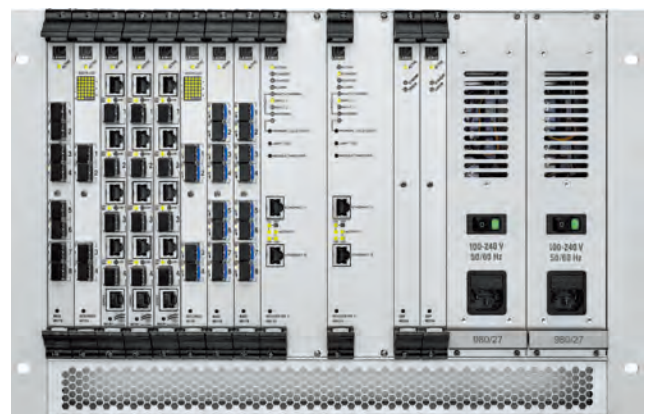
- 8,192 × 8,192 のルーティング容量 (モノ・チャンネル)
- サンプル単位での同期システム
- 幅広い種類のインターフェイス：アナログ MIC/LINE (トランス / 電子バランス)、ヘッドフォン (VCA インターフェイスを含む)、AES/EBU (AES3)、MADI (AES10)、RAVENNA AoIP、SDH/STM-1、3G/HD/SD SDI (エンベデッド音声、SRC 付き)、ADAT* (SRC 付き)、RS422、RS232、MIDI によるデータ転送、GPIO (オプโตカプラー、リレー、VCA)、IP コーデック
- 19"/10RU のフレーム、動作中のモジュールをホットプラグ可、前面からアクセス可能
- 96 kHz、Dolby-E 互換
- コスト効率の高いシステム
- デュアルスター・バックプレーン (STAR² アーキテクチャー) とリダンダンシー・オプションによる高信頼性



Nova73 compact Digital Audio Matrix

Nova73 HD の小型バージョン。Nova73HD や mc² シリーズと同じインターフェイス・カードを用い、同じリダンダンシーを提供。スタンドアローンのルーターとして、また mc² シリーズ・コンソールとの組み合わせで使用できます。

- 5,120 × 5,120 のルーティング容量 (モノチャンネル)
- 最高 600 のフル装備 DSP チャンネル (ブロードキャスト・モード時)
- 入出力および DSP モジュール (RAVENNA, MADI, ATM, AES, DSP) 用の 10 個のスロット
- 動作中のモジュールをホットプラグ可、前面からアクセス可能
- D-sub 25 コネクター使用の内蔵 AES3 接続
- 19" / 7RU のフレーム
- ルーター、電源、カードとポートのリダンダント化可能



Nova37 Digital Audio Router

小中規模クラス向けオーディオ・ルーター。コンソールや I/O システムを RAVENNA/AES67 または MADI 経由で接続してオーディオ・ネットワーク・システムの構築が可能となります。

- 1,536 × 1,536 ルーティング
- RAVENNA/AES67 ポート × 8 (SFP を介する RJ45 またはオプティカル)
- MADI ポート × 8 (SFP を介するオプティカル)
- mc² Compact I/O と mc²36 コンソールの簡単なネットワーク化を行える標準コンフィギュレーション
- ワンタッチの権限管理機能



- リダンダント電源
- 19" / 3RU のフレーム



Broadcast^{3.0}

Broadcast 3.0 is based on the cornerstones of IP transport, software-defined processing, orchestration and seamless control of network resources, and automated workflows. This 3rd generation of broadcast infrastructure solutions raises production capabilities to a new level, enabling more efficient utilization of resources and smarter content creation.

Console / Interface / Router 2019-